

# 史跡大御堂廃寺跡 整備基本計画の概要 (中間案)

## 「山陰が誇る大伽藍<sup>がらん</sup>と高い仏教文化」

大御堂廃寺跡は、創建7世紀中頃と推定される山陰地方最古級の古代中核寺院である。寺院地内は、大規模な整地が行われ、主要堂塔をはじめ地方寺院では珍しい僧房や築地塀が備えられており、大規模かつ整然とした川原寺式(観世音寺式)の伽藍配置であった。山陰唯一の蓮華文鬼瓦<sup>れんげもん</sup>や正倉院宝物に類する銅製匙や新羅の銅で造った獣頭など、優れた仏具が出土している。

なお、史跡指定地北隣接地に鳥取県立美術館が令和6年度に開館することに合わせて、互いの価値を引き出し高め合える整備を目指す。



大御堂廃寺跡 位置図



第2次発掘調査現地説明会の様子(1997.11.8)



空中写真と遺構配置図

### ◇本質的価値

- ①山陰最古級の古代中核寺院
- ②仏教文化の香る遺物・古代の生活環境を表す遺物
- ③古墳時代から古代への変遷を読み取れる古墳・古代官道の立地

### ◇新たな価値評価の視点

- ①当時の姿を今に伝える地形と景観
- ②史跡指定地の南側には中心伽藍<sup>がらん</sup>(寺院の主要建物群)が残り、東側には関連遺跡が広がる可能性
- ③久米郡衙<sup>ぐんが</sup>(郡を治める役所)や伯耆国庁との関係が深い寺院
- ④県立美術館開館による新たな付加価値の創出



銅製匙



蓮華文鬼瓦



銅製獣頭

## ○整備の現状と課題



築堤(撤去)



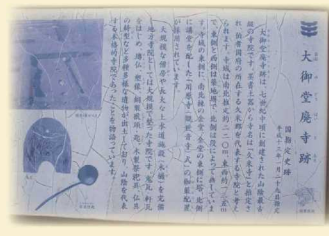
アスファルト舗装(撤去)



旗掲揚ポール(撤去)



溜柵位置のブロック囲い(撤去)



説明板(更新)



現状の史跡大御堂廃寺跡の様子  
(打吹山を望む)

### ◇整備の課題(主なもの)

- ①誤解を招くことのない遺構表示を行う必要がある。
- ②劣化の激しい既設構築物がある。
- ③視覚的にイメージできる遺構表示がなく、解説等が不足している。

## ○整備の基本理念・基本方針

### ◇整備の基本理念

大御堂廃寺跡の歴史を体感でき、  
またイベント等を通し、  
多くの人々が集い・学び・憩う場

県立美術館と活用の相乗効果が  
発揮され、一体化した共有空間の場

まちづくりの一環として、  
市民等との協働による  
「つくり育てていく」史跡

### ◇整備の基本方針

- 1.本史跡の本質的価値を  
確実に保存・継承するための整備  
地下遺構の確実な保護を図るため、  
その対策を講じる。
- 2.本史跡の本質的価値を  
顕在化させるための整備  
大御堂廃寺跡の価値や特徴、かつ  
ての姿を理解できる整備を、ハード  
・ソフト両面で行う。
- 3.公開活用のための整備  
倉吉市のまちづくりの一環とし  
て、市民参加による持続可能な整備  
を目指し、また鳥取県立美術館と一  
体化した共有空間として整備する。

# ○整備事業の内容



整備平面イメージ図

## ◇遺構の表示

発掘調査の成果をもとに、規模や配置・形態の情報を模式的に表示する。

伽藍内建物の基壇は立体表示とし、建物範囲は平面表示とする。築地塀については、平面表示とするが一部復元的整備を行う。

## ◇案内・解説施設の設置

解説サインは、本史跡オリジナルのものとし、全体説明板は自立式、遺構説明板は台座式のものを使用し、本史跡の全体像を表示する復元模型(1/100)を設置する。

更に、溜枿では遺構説明板にQRコードを掲載し、追加写真等の情報を公開する。ほか、2か所の視点場を設け、ARにて当時の伽藍状況を表示させるなど、デジタルコンテンツを活用した案内・解説施設を整備する。

## ◇公開・活用について

幅広い層に本史跡への関心を持ってもらえるような公開・活用を実施する。それにつき、以下のような学習・体験を検討している。

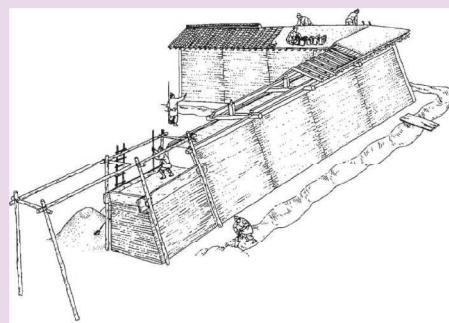
### ○築地塀の版築体験

復元的整備を行った北側に来訪者が版築作業を体験できるコーナーを設ける。

### ○塔心礎及び四天柱礎移動体験

塔の礎石を基壇まで移動させる体験と、塔基壇へ礎石を引き上げる体験を実施する。

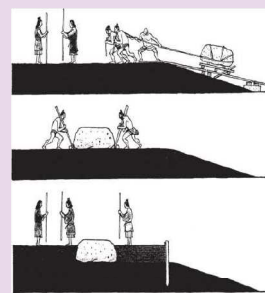
これらの他にも調査成果の周知やイベント等、本史跡ならではの本質的価値を実感してもらうための公開・活用事業を行っていく。



「築地塀の造営作業想像図」  
『古代の官衙遺跡 | 遺構編』  
奈良文化財研究所 2003



塔心礎・四天柱礎  
(上灘小学校)



礎石設置の様子  
『日本人はどのように建造物をつくらせてきたか1法隆寺』  
草思社 1980

## ○整備事業スケジュール

	第1期				第2期	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
遺構表示 ゾーン	基本設計	実施設計	各種整備 礎石移動体験			
多目的 ゾーン	各種調査			各種整備		
全体共通	学習・体験、イベント、グッズ開発等 パンフ作成、アプリ開発・運用 事業報告書作成 版築体験 実態把握、経過観察、評価					

編集・発行 : 倉吉市教育委員会事務局

発行年 : 令和2年12月

お問い合わせ先 : 倉吉市教育委員会事務局文化財課  
〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722

電話番号 : 0858-22-4419

FAX番号 : 0858-22-2303